



# KFA版「8人制サッカー競技規則」

(一社) 香川県サッカー協会  
第4種審判委員会



Copyright (c) JFA All rights reserved

KFA版「8人制サッカー競技規則」  
(一社) 香川県サッカー協会 第4種審判委員会

- **8人制サッカー導入と競技規則の考え方**
- **8人制競技規則の前提**
- **KFA版「8人制サッカー競技規則」**

## 一 8人制サッカー導入と競技規則の考え方 一

ユース年代、特にU-12(12歳以下)の競技者にとって試合は最高のトレーニングの場です。子どもたちは、多くの試合でプレーし、練習では経験できないさまざまなことに立ち向かい、解決することによって、選手として成長していくことになります。子どもたちが選手として成長する機会を多くつくるには、タイトルを懸けた試合を繰り返すリーグ戦を、文化として日常生活に醸成していくことが不可欠であり、U-12の選手にとって生活圏内で数多くの試合を楽しむことができる環境を整えることが必要です。

日本サッカー協会(JFA)では、サッカーをプレーしているすべての子どもたちに試合に出場する機会を与え、試合を通して選手として成長する機会を与えるために、「8人制サッカー」を導入することにしました。仲間と練習しているメンバー全員が試合に出て、試合を通して練習で身につけた技術や戦術を試してみる。試合の中で見つけた課題を練習してみる。このことが何より子どもたちを成長させることとなります。

「8人制サッカー」は多くの子どもたちが試合に出場できるようにするために、ピッチを大人のサイズの半分にし、自由にいつでも交代できるようにした、この年代においては最適な試合形式だと考えています。

U-12の子どもたちが試合を通して、サッカーを楽しみ、サッカーを通して規則や規律を学び、仲間を大切にすることを養うことができると信じています。そのためにはこの年代に携わる指導者・審判員・保護者が一体となり、サッカーを通して「フェアプレー精神」や「リスペクトの心」を培っていきたいと思っています。

このような考えにしたがい、JFAでは「サッカー競技規則」(11人制)が規定するサッカーの精神やサッカーの特色を維持しつつ、8人制サッカーの特徴が生かせるように「8人制サッカー競技規則」を整備しました。U-12の選手だけでなく、広く8人制サッカーが日常的に楽しめるように「サッカー競技規則」を修正したのが「8人制サッカー競技規則」です。

3

## 一 8人制サッカー競技規則の前提 一

「8人制サッカー競技規則」は、(財)日本サッカー協会が制定している「サッカー競技規則」をもとに、U-12(12歳以下)の選手が試合を行うことを前提として制定したものです。

「サッカー競技規則」から「8人制サッカー競技規則」で修正したものは部分的なものであり、それ以外の部分は「サッカーの精神」も含めて「サッカー競技規則」の規定のままです。

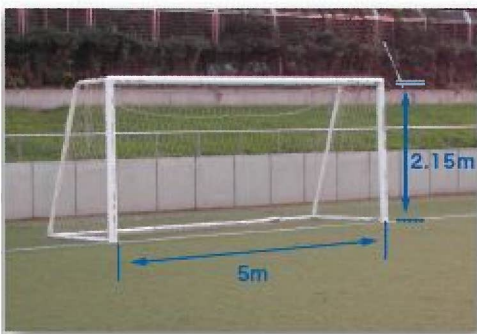
4

# KFA版「8人制サッカー競技規則」

※文中のアンダーラインが引かれた箇所は、  
日本サッカー協会発行の8人制競技規則と  
の変更箇所である。

## 第1条 (競技のフィールド)

- ①表面・・・・・・・・安全なもの。天然芝、人工芝、土
- ②大きさ・・・・・・・・68m×50m
- ③フィールドのマーク・・ペナルティーエリア等 (次図参照)
- ④ゴール・・・・・・・・少年用サッカーゴール
- ⑤交代ゾーン・・・・・・・・自由な交代のため、6mの交代ゾーンを設ける。  
(ハーフウェイラインを挟んで3mずつ)

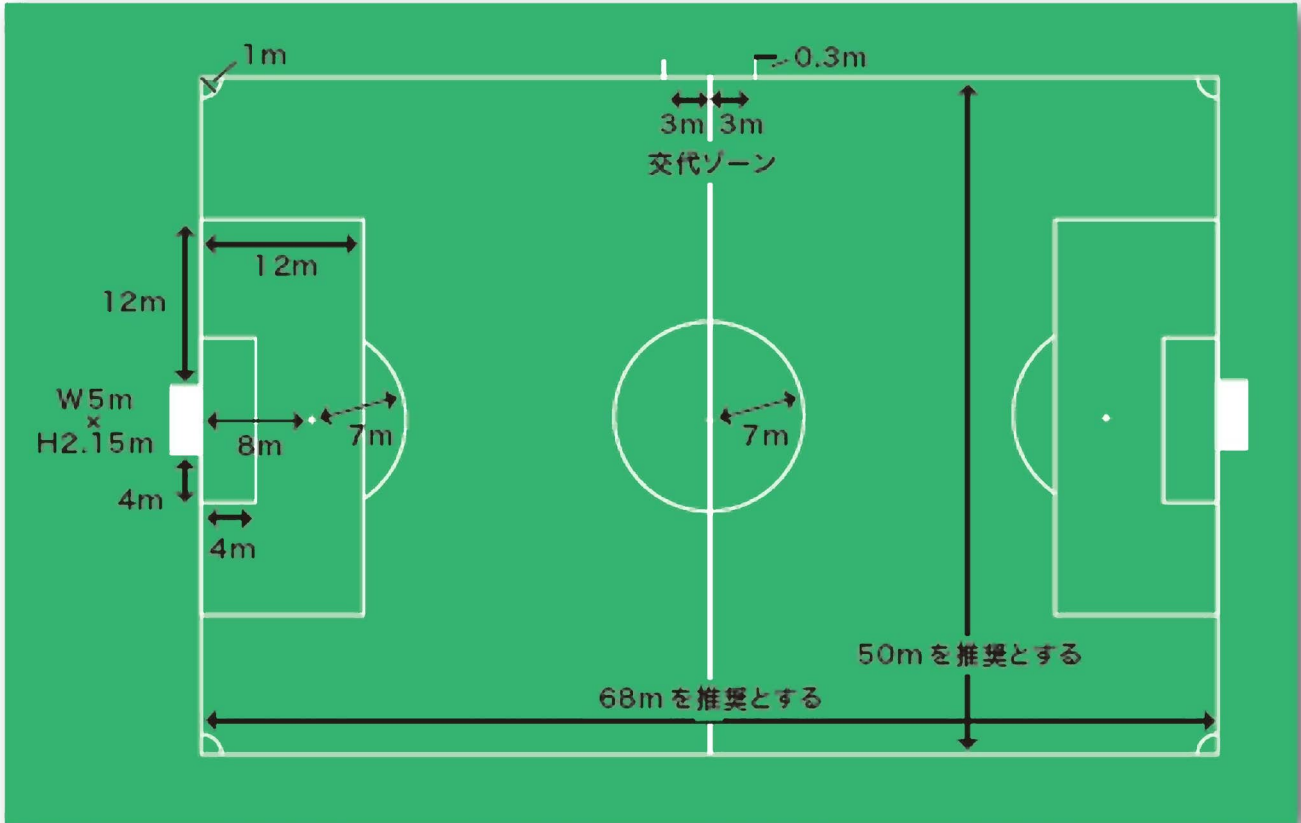


少年用サッカーゴール



交代ゾーン (マーカーでも可)

## フィールドのレイアウト



7

### 第2条 (ボール)

4号球 . . . . . 空気圧はサッカー競技規則のとおり。

### 第3条 (競技者の数)

- ① 8人の競技者 . . . . . 6人未満では試合開始しない。  
一方のチームが8人に満たない場合、  
同数とする必要はない。
- ② 出場人数 . . . . . 交代を含めて16人。  
交代要員の数については競技会規定  
に記載。
- ③ 交代の手続き . . . . . 交代ゾーンからの出入り。  
主審の承認を得ることはない。
- ④ ゴールキーパーの交代 . . . . . アウトオブプレー時に主審に通知。  
ハーフウェーラインからの出入り。

8

## 第4条 (競技者の用具)

- ① **ジャージー** . . . . . **異なる色彩のジャージーを着用する。  
ただし、ビブスは不可。**
- ② **ゴールキーパーのジャージー** . . . **両チーム同色のジャージー  
でも可。ただし、主審の判断による。**
- ③ **背番号** . . . . . **背番号は必須とする。**
- ④ **競技者の靴** . . . . . **靴の種類は問わない。**
- ⑤ **すね当て** . . . . . **着用する。**
- ⑥ **競技者の用具検査** . . . **試合開始前に用具検査を実施。**
- ⑦ **眼鏡** . . . . . **安全であることを確認。**

## 第7条 (試合時間)

- ① **前、後半それぞれ15～20分**・年代によって変更可。
- ② **ハーフタイム** . . . . . **10分を超えない。**
- ③ **3ピリオド制** . . . . . **競技会規定により決定可。  
3ピリオド目途中でエンドを替える。**

## 第8条 (フレーの開始及び再開)

**キックオフゴール** . . . . . **直接相手ゴールに入った場合はゴールキックとする。**

## 第12条 (ファールと不正行為)

**退場選手の補充** . . . . . **退場が命じされたチームは競技者を補充させても可。**

## 第13条 (フリーキック)

**フリーキック** . . . . . **7m以上ボールから離れる。**

## 第15条 (スローイン)

スローイン・・・2m以上ボールから離れる。

## 第17条 (コーナーキック)

コーナーキック・・・コーナーアークから7m以上離れる。

## 勝者を決定する方法

- ①前、後半で延長を設ける・競技会規定により5分ハーフにて行うことも可。
- ②PK方式・・・・・・・・・・3人ずつのキックを行う。

## 基本的な用具について

香川県サッカー協会 第4種委員会ではアンダーシャツの色をローカルルールとして (アンダーシャツの色はチームとして統一していれば問題ない) 運用していましたが、ストッキングのテープが競技規則により追加されたことから基本的な用具は、すべて競技規則に準じるものとします。

### 基本的な用具

競技者が身につけなければならない基本的な用具は次のものであり、それぞれに個別のものである。

- 袖のあるジャージーまたはシャツ——アンダーシャツを着用する場合、その袖の色はジャージーまたはシャツの袖の主たる色と同じでなければならない。
- ショーツ——アンダーショーツまたはタイツを着用する場合、その色はショーツの主たる色と同じでなければならない。
- ストッキング——テープまたは同様な材質のものを外部に着用する場合、着用する部分のストッキングの色と同じものでなければならない。
- すね当て
- 靴

## 審判について

13

### 8人制競技規則の導入に伴う審判員の数について

1人制審判を採用した場合は、**1人の主審と1人の補助審判員**で運営する。

1人制審判及び補助審判の採用にあたっては競技会規定に記載する。

#### 補助審判員の任務

- ①主審によって要請された試合前、中、後の管理上の任務を援助する。
- ②ボールの交換を管理する。
- ③交代の手続きが円滑に行われるよう、主審を援助する。
- ④チーム、競技者が試合中にフェアプレー精神あふれる行動やリスペクトある行動を取っていたのを見た場合、主審に知らせ、主審がグリーンカードを示す援助をする。
- ⑤警告する競技者の特定を間違えて別の競技者が警告されたときや2つめの警告が与えられたにもかかわらずその競技者が退場させられないとき、また、主審の見ていないところで乱暴な行動が起きたとき、主審に合図する。

14

## グリーンカード

主審は、フェアプレー精神溢れた行動やリスペクトある行動を取った競技者にグリーンカードを示しましょう。

※グリーンカードは、試合開始前から試合中、または試合終了後であっても、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず、示すことができる。

### 8人制サッカーと11人制 サッカーの違い (競技規則)

項目	8人制サッカー(U-12)	11人制サッカー
ピッチの表面(標準)	安全なもの(天然芝、人工芝、土など)	芝(天然、人工)
センターサークルの半径	7m	9.15m
任意のマーク	7m	9.15m
ピッチの大きさ	50m×68m(推奨)	68m×105m(標準)
ゴールエリアの大きさ	ゴールポストの内側から4m	ゴールポストの内側から5.5m
ペナルティーエリアの大きさ	ゴールポストの内側から12m	ゴールポストの内側から16.5m
ペナルティーマークまでの距離	ゴールポストの中央から8m	ゴールポストの中央から11m
ペナルティーアークの半径	ペナルティーマークから7m	ペナルティーマークから9.15m
ゴール	2.15m×5m	2.44m×7.32m
交代ゾーン	ハーフウェーラインをはさんで6m設ける	ない
ボール	4号球	5号球(U-13は、4号球)
競技者の数	16人のうち8人が先発の競技者	11人
試合成立人数	両チームが同数となる6人以上	7人未満は試合を開始しない
交代要員	試合に出場していない競技者	7人登録のうち3人まで
交代の方法	自由(交代ゾーンで交代できる) GKはアウトオブプレーの時に主審の承認を得て	アウトオブプレーの時に、審判の承認を得て3人まで
競技者の用具	競技会規定で定めれば、ピブスの着用が可、GKの色彩は同じでも可	両チームは、互いに、審判と区別できる色の服装(ジャージー、ショーツ、ストッキング)
審判	主審、副審2人、第4の審判(任意)か、主審、補助審判(必須)	主審、副審2人、第4の審判
試合時間	15分～20分ハーフ(標準)か、12分間のピリオド×3回	45分ハーフ
ハーフタイムのインターバル	10分間を超えない	15分間を超えない
3ピリオド制	採用した場合は、3ピリオド目の中間の時点でハーフを入れ替える	採用しない
キックオフ	直接得点することができない	直接得点することができる
退場後の措置	競技者の補充ができる	競技者の補充はできない
グリーンカード	主審はフェアプレー精神にあふれる行動やリスペクトある行動を示す	U-13の試合では、主審はフェアプレー精神にあふれる行動やリスペクトある行動を示す
FK時に離れる距離	7m	9.15m
GK時に離れる距離	7m	9.15m
延長戦	5分間(ハーフ)以内	15分間(ハーフ)以内
PK方式	3人ずつ行って、その後リドゥ	5人ずつ行って、その後リドゥ



# RESPECT リスペクト

サッカーを楽しむために不可欠な要素として“リスペクト”の精神があります。

“リスペクト”とは、相手を大切に思うこと、相手に思いやりを持つこと、  
競技規則を守ること、審判員の判定を尊重することです。

《 フェアプレーの原点です 》



日本サッカー界において、JFAとJリーグが共同で  
“リスペクト”精神あふれるサッカーを広めることに取り組んでいます。

17

(一社) 香川県サッカー協会  
第4種審判委員会

18